

奈良県民の皆様へ

昨年（2020年）当初より猛威を振るっています新型コロナウイルス感染（COVID-19）は第5波にまで拡大してきました。奈良県は大阪の近郊都市として、往来が極めて緊密なところで、これまでも感染者数は大阪に同調してきました。最近になって感染者数も減少傾向にあり、少しは安堵しています。これは、県民の皆様方の感染症対策に対するご理解と自粛、ワクチン接種などの成果によるものと思います。これまでに経験したことのない厳しい社会生活を強いられ、皆様方も大変お疲れになられていることと拝察いたします。また、新型コロナウイルスに感染されました方々、さらにはご家族の皆様方には心よりお見舞い申し上げます。

これから冬場に向かって、第6波といわれる感染拡大、さらにはインフルエンザの流行なども懸念されています。感染者数が減少したとはいえ、今なお重症化の患者さんもつらい日々を過ごされています。コロナウイルスが減少したわけではありません。むしろ変異株が増えている状況です。感染者数に一喜一憂することなく、感染対策は引き続き施行していかなければなりません。下記に基本的な感染対策を示します。

- * 屋内で複数の者が集まる機会では密集・密接になる場を避けることを徹底する。
- * 不織布マスク着用は必須で、15分以上の談笑や同一場所に長時間滞在することは避けることが必要で、対人距離は最低1m（できるだけ2m）を確保する。
- * 部屋の換気に努め、扇風機、サーキュレーター、空気清浄機などで屋内の空気を動かして空気の淀みを少なくする。
- * 飲食を伴う屋内のイベントへの参加はできる限り控える。参加する場合、マスクを外す時間を短時間に留め、適切なアルコール消毒剤を用いた手指衛生を適切に行う。
- * 外出先から帰宅したときには、必ず手指の洗いとうがいを励行すること

これまで歯科医院における感染者やクラスターは発生していません。歯科医院では、多くの患者さんの出入りがあり、個々の患者さんの口腔内を診察していますので、平素から消毒や滅菌については十分な配慮をしているところです。きわめて安全性の高いところです。むしろ口腔内を清潔に、健康に保つことが感染に対する重要な防御になります。歯科医院に来院されることをためらうことなく、歯科受診をしてください。ただし、歯科医院への行き帰りには、上記の点に十分ご注意ください。

皆様方のご健勝を祈念しています。

2021/10/20

（一社）奈良県歯科医師会
会長 末瀬一彦